

研究所たより 研究所たより

今年の冬の訪れは「ある日突然」といってもいいほど唐突で、案の定風邪をひいてしまいました。昨年の今頃は協同集会の準備で風邪どころではなかったような気がします。まったくあつという間の1年です。

さて、隔年で開催している「協同集会」ですが来年は長野市で開催することが決定しました。すでに実行委員会の設立に向けた準備会が動き出しています。この「たより」をお借りして簡単な経過と今後の予定についてご報告します。

例年、協同集会については開催の1年程前から実行委員会を立ち上げ準備を開始するのですが、前回集会は開催地決定が遅れ、準備が後手に回ったということから、次回については早期の開催地決定と準備開始を、というのが反省点として上がりました。そこで、日本労協連の総会終了後、6月末の理事会で議案に取り上げていただき、長野での開催が提起されました。(通常、協同集会は日本労協連、協同総研などが呼びかけて開催地で実行委員会を立ち上げ、開催しています。)その後、「労協ながの」や「長野県高齢者生協」および、「長野県非営利・協同懇談会」でご議論いただき、長野市で開催することが決定しました。

長野県非営利・協同懇談会は、最初の協同集会である1987年の「いま協同を問うプレ集会」の終了後に、長野生協・長野県民生協・長野医療生協・長野中高年雇用福祉事業団の4者により「長野県協同組合間懇談会」として協同組合間の交流を目的に設立されま

した。その後長野県内の非営利・協同組織の参加が広がり「考えてみよう長野県での協同を」集会を開催。現在の主な加盟団体は、コープながの、長野県高齢者生協、長野県生協連、長野県厚生連労組、労協ながの、長野医療生協、長野民医連、農文協、田楽座、長野県共作連、長野県保険医協会ほか多くの組織が加盟しています(詳しくは『協同の發見』No.90 1999.10 特集を参照のこと)。

実行委員会はこの組織を基礎にできるだけ幅広く協同組合、NPO等市民組織に働きかけ、参加を募っていきます。すでに私は8月以降4回ほど長野へ行き、準備段階の話し合いから参加させていただいていますが、人間らしい生き方・働き方を基本テーマとしながら、長野県の政策と市民の関わり、協同組合の従来の枠組みからの発展と若者の参加などについて様々な地域で様々な活動をしている組織との出会いと協同が深められる集会しようと討議が繰り返されてきています。

長野県高齢者生協依田理事長を代表とする準備会では2004年11月20日(土)21日(日)の2日間、市内の会館、JAビル等にて開催する企画案をしており、全体集会には田中知事にご参加いただけるよう準備をすすめることとしています。

第1回の実行委員会は2003年12月5日(金)13:30～17:00、JAながのビル12階E会議室で開催されます。ご参加希望の方は、労協ながの内実行委員会準備会事務局 TEL.026-263-2338 E-mail:ngntkfj@roukyou.gr.jp までご連絡下さい。(菊地 謙)